



すてきな言葉をあふれさせよう 校長 有川 直美



あたたかい言葉をかけられて、心が元気になったり楽しくなったりする経験、そして、分かってはいるけれど、思わず相手を傷つけてしまう言葉を発してしまう経験、どちらも誰にでもある経験です。でも、「ちくちくことば」ばかり使っていると、それが当たり前の話方になってしまい、周囲の人とのトラブルが絶えなくなります。だから、「ちくちくことば」を「ふわふわことば」に言いかえるポイントを子どもたちと確認しました。上手に言いかえられる子どももいて、とても感心しました。

いつでも、「ふわふわことば」を使えるように、右の5つのポイントに気を付けて、家族のみなさんとも練習してみましょう。

- <1> 質問にかえる。(例)かわってよ!→かわってくれる?
あなたが思っていることを、質問にして、相手に伝えよう。
- <2> お願いにかえる。(例)うるさい!→小さな声でお話して。
あなたの気持ちを「〇〇して」ってお願いにかえよう。
- <3> 見方にかえる。(例)変なの!→おもしろいね。
見方にかえるということは、別の考え方をしてみるということ。いいところを探すことにもつながるかも。
- <4> 自分の気持ち伝える。(例)うそつき!→悲しかったよ。
あなたの気持ちを素直に伝えよう。相手を責めたり、文句をいったりしないで素直にね。
- <5> 相手の気持ちに寄り添う。
(例)そんなこともできないの!→難しいよね。
相手はどんな気持ちかなと考えると言いかえられるよ。
(引用文献: 齋藤孝 監修「ことばいいかえほん」)

地域に響いた歌声と学びの成果 ～学習発表会を終えて～

今年の発表会も、児童生徒一人ひとりが主役となり、日頃の学びの成果を存分に発揮しました。

小学生は、体育の発表で元気いっぱいの運動を見せ、島唄の発表では、地域に伝わる伝統の心を美しい歌声に乗せて届けました。その一生懸命な姿に、会場からは自然と笑みがこぼれていました。中学生は、総合的な学習の時間の成果を発表しました。自ら課題を見つけ、調査・分析した内容を堂々とプレゼンテーションする姿は頼もしく、深い学びの足跡を感じさせるものでした。

そして、フィナーレを飾ったのは全校合唱です。小学生の元気な声と中学生の深みのある声を重ね合い、本校ならではのハーモニーが体育館中に響き渡りました。子どもたちの成長と団結力を肌で感じる一日となりました。

今後とも、地域とともに歩む学校づくりにご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



実りの秋に感謝！笑顔あふれる「もちつき大会」

10月29日、恒例のもちつき大会を行いました。今回使用したもち米は、春の田植えから秋の稲刈りまで子どもたちが自分たちの手で大切に育ててきたものです。今年は天候にも恵まれ、例年以上にたくさんのもち米を収穫することができました。まさに「豊作」の喜びを皆で分かち合う一日となりました。自分たちで育て、ついたお餅の味は格別だったようで、どの子も満面の笑みを浮かべていました。

開催にあたり、準備や運営にご協力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。皆様の温かいサポートのおかげで、子どもたちにとって貴重な体験学習の場となりました。



12月の主な行事

- 1日(月) 校内人権週間(～5日)
- 学級PTA
- 5日(金) 学校評議員会・交流給食
- 9日(火) 市小・中学校音楽発表会
- 10日(水) 人権集会
- 11日(木) 地区中学校弁論・ショートスピーチ大会
- 13日(土) ロードレース大会・家庭教育学級
- 24日(水) 終業式

